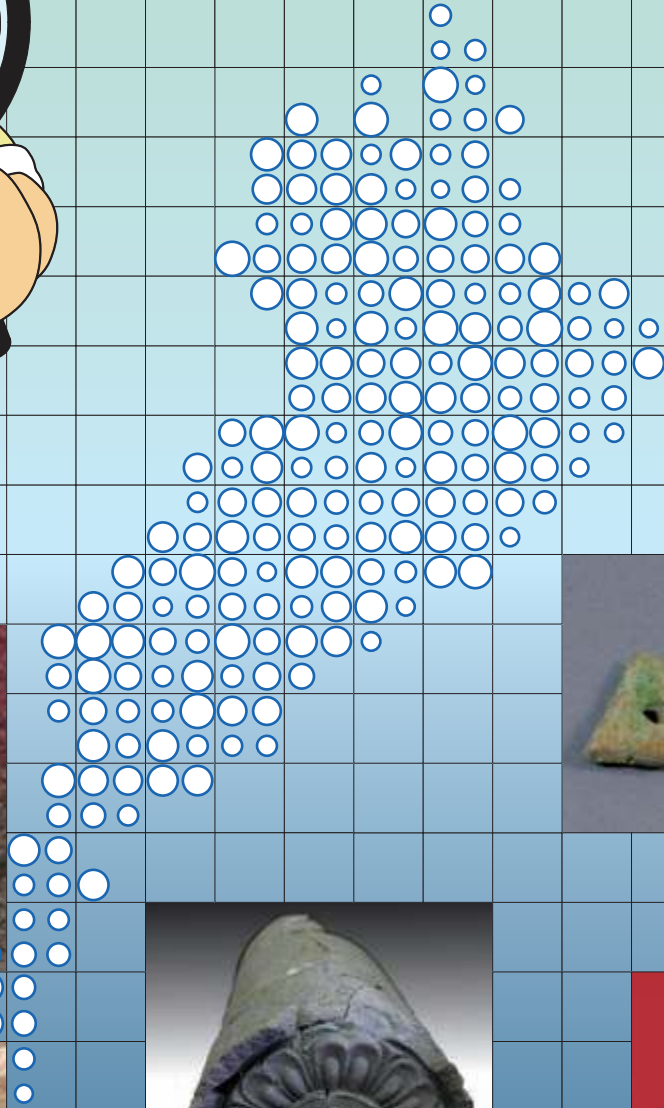
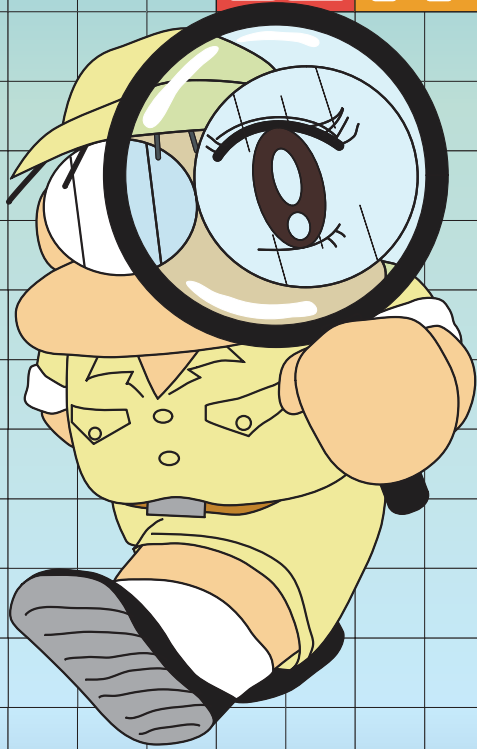


体感！

夏休み発掘速報

2011



主催：財団法人滋賀県文化財保護協会
共催：滋賀県教育委員会／大津市教育委員会
栗東市教育委員会／彦根市教育委員会
財団法人栗東市文化体育振興事業団

ごあいさつ

この体験学習と速報をとおして、前年度に行いました発掘調査や整理調査の成果を少しでも早く知っていただき、出土した遺物にふれることや体験学習をとおして昔の人たちの生活への関心や、歴史への興味をもっていたいただければと思っております。今年度は、大津市・彦根市・栗東市の各教育委員会と、財団法人栗東市文化体育振興事業団からご協力をいただき、あわせて展示させていただいております。

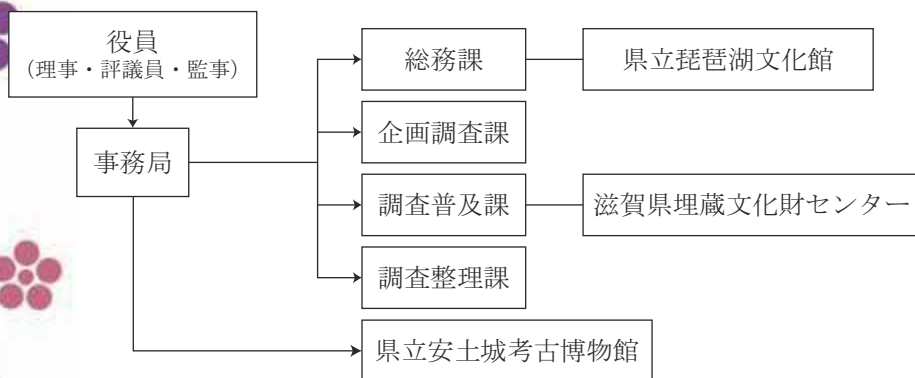
財団法人滋賀県文化財保護協会とは

財団法人滋賀県文化財保護協会は、滋賀県内の文化財の調査や研究、保護思想の普及・啓発、その他必要な事業を行い、本県の文化向上に寄与するため、昭和45年（1970年）に設立されました。

●事業内容（詳細については、P27からの事業実績に記載）

1. 文化財の調査研究および保護に関する事業
2. 文化財保護のための普及啓発事業
3. 文化財保護資金の貸付事業
4. 文化財関連施設の管理運営事業

●組織図



滋賀県立琵琶湖文化館



滋賀県埋蔵文化財センター



滋賀県立安土城考古博物館

●基本財産 40,000,000円（滋賀県、県内市町、協会の出資金）

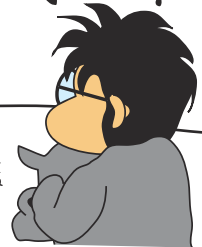
財団法人滋賀県文化財保護協会は、文化財の調査・活用事業をとおして豊かな滋賀づくりに貢献します。

パート1 体感しよう！古代の火起こし！！

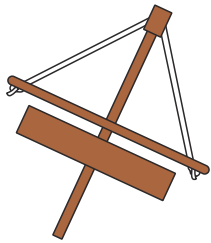
火起こしの心得

いち、夏、夏の火起こしは暑い。でも火はもっと熱い！
に、式、火が起こらなければご飯は食べられない！
さん、参、「やってやるぜ！」の根性で！

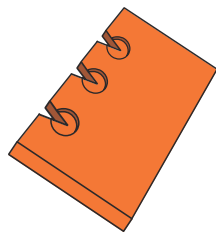
自分な手強うたね



火起こしのやり方

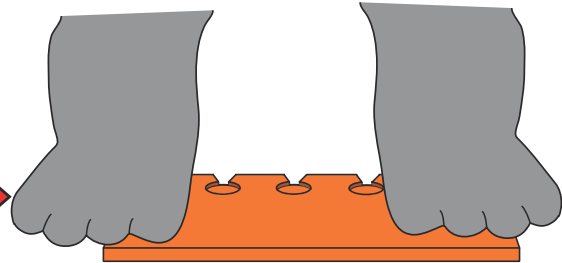


「舞い錐」といいます

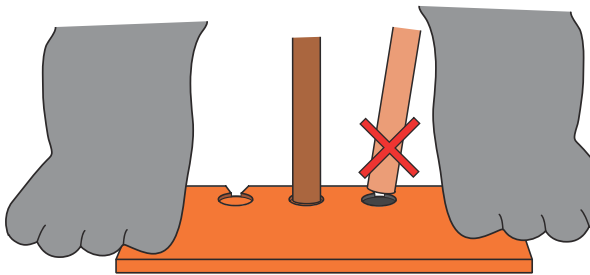


「火きり臼」といいます

①使う道具は2つ。
片方だけではどうしようもない

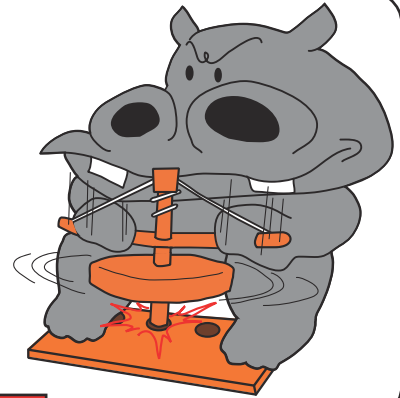


②火きり臼を両足で踏んで、しっかりと固定する。火を起こす穴は踏んじゃダメだよ。

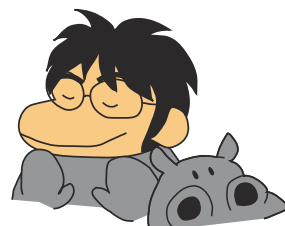


③火きり臼の穴に舞い錐の先を刺す。黒くこげている穴は、1度火のついた穴だから使えないよ。

④舞い錐を回転させる。ただ回転させればいいというわけではない。火きり臼に穴をあけるつもりで回転させる。舞い錐が穴からはずれないように。



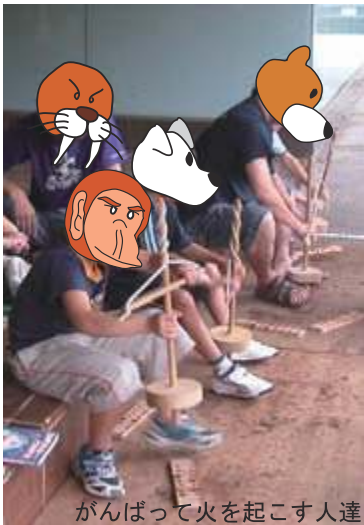
⑥やがて削れていった火きり臼の粉に火がつく。「ボワッ」と炎があがるわけではなく、たくさんの煙とともに、小さな火種ができる。



できた火種に枯葉のような燃えやすいものをかぶせたりすれば、焚き火ができるというわけ。

でもそこまでしないだね。

体験用火起こし道具の歴史



がんばって火を起こす人達

今ではあちらこちらで見かけるようになった火起こし体験。どこもよく似た市販品の舞い錐が多く使われています。

私たち滋賀県文化財保護協会でも、今は市販品の舞い錐を使っていますが、数年前までは職員が自作した舞い錐を使っていました。

右の写真がその自作の舞い錐です。市販の舞い錐は軸と芯が一体になっている使い捨て式ですが、自作の舞い錐は芯が交換式になっています。

芯は「ウツギ」という木でできており、山中に生えています。ウツギの芯をはずみ車に差込み、すり減ったら交換すればよいのです。はずみ車が割れない限り、何度でも使えます。



職員自作の舞い錐



はずみ車に着けられた芯

舞い錐の下の方についている大きな円盤は、「はずみ車」といいます。このはずみ車があるおかげで、舞い錐は少ない力で勢いよく回るのです。

自作の舞い錐のはずみ車は、市販のものより小振りとなっていますが、重くできています。このおかげで市販のものより軽い力で回すことができます。

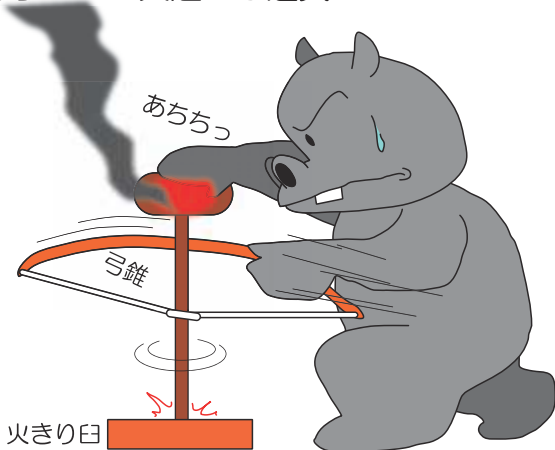
自作の舞い錐は、芯が上手く装着できなかつたり、中心がずれたり欠点はありませんでしたが、軽く回せて良かったです。古代の知恵と経験を知る上では、自作の舞い錐は最適ではないかと思えます。



今思えばエコな道具。

分割して上から芯を差込み、軸で芯を押さえ込む仕組み。

もう1つの火起こし道具



火きり臼

「弓錐」という道具もありました。これも自作です。芯となるウツギを上から板で押さえ、芯に弓の弦を巻きつけて回転させる仕組みでした。舞い錐よりも早く火が着きましたが、結構な力が必要でした。

回転力はあるのですが、ありすぎて押さえられている板の方から火が着くこともありました。

今となっては笑い話ですが、とても熱かったです。いい思い出です。

パート2 夏休み発掘速報2011

今回登場する遺跡の場所



財団法人滋賀県文化財保護協会事業概要	P1
財団法人滋賀県文化財保護協会事業実績	P27
平成22年度事業実施概要	P29
平成22年度調査一覧	P30



南東から見た調査区全景

あのう 穴太遺跡

しもさかもと 大津市下坂本二丁目

紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



調査地周辺の航空写真



墨書土器や硯が見つかった自然流路跡を南東から望む。この近くに官衙跡があったのかもしれない。



「兵」と墨書された土器



「宮」と墨書された土器



硯

穴太遺跡は、縄文時代から平安時代にかけての大規模な遺跡で、これまでの発掘調査では、7～8世紀の大壁造^{おおかべづくり}建物^{たてもの}や礎石^{そせき}建物^{あのはいじ}、「穴太廃寺」とも呼ばれる飛鳥時代～平安時代の寺院跡^{かわらがま}や瓦窯^{かわらがま}などがみつかっています。

今回の調査では7世紀中頃の溝跡や8世紀中頃より後に起きた、近くの河川の洪水によってできた川跡などがみつかりました。

7世紀中頃の溝跡からは煙突^{えんとつ}が出土し、8世紀中頃以降にできた川跡からは、多量の土師器や須恵器が出土しました。須恵器の中には「兵」・「宮」と書かれた墨書土器^{ぼくしよ}（表面に墨で字などが書

かれた土器）や、硯^{すずり}などもありました。

墨書土器や硯のような土器は、主に昔の役所跡などからみつかる遺物です。自然流路跡は西から東へと流れていたようなので、今回の調査地の西側には役所のような施設があったのかもしれません。

(大津市教育委員会)



7世紀の「煙突」

煙突が見つかった状況

調査員の 思い出

発掘前の試掘調査では出土遺物^{いぶつほうがんそう}が少なかったのに、遺物包含層から掘り下げたら、予想に反して遺物がいっぱい。時間がなくてやり残したこと

もいっぱい。地下の状況を狭い範囲の試掘から把握するのは難しいもんですな～。



はくほうじいん 未知の白鳳寺院を発見



中心基壇の跡。白線の内側は周囲と異なる土で埋め固められていた。

しもまがりひがし 下鉤東遺跡

はちや
栗東市蜂屋

紀元前1500年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



中心基壇の調査の様子



瓦が捨てられた土坑



軒丸瓦

赤い顔料が付いた平瓦

鴟尾の破片

下鉤東遺跡は、弥生時代の村があったことが考えられている遺跡で、これまでの調査で大規模な溝から弥生土器や朱塗りの盾が見つかっています。今回の調査では、白鳳期の寺院跡が新たにみつけられました。7世紀後半～8世紀のいわゆる白鳳寺院の発見は、栗東市内では、手原廢寺・小平井廢寺に次ぐ三例目となります。

みつかった寺院の構造は、東西 154 m、南北 172 mの大きな方形区画を溝で築き、さらにその内部を大小2つの区画に分けています。その大区

画の中央には柵に囲まれた約 16 m四方の基壇の跡があり、その周辺から多量の瓦が出土しました。

出土した軒瓦は、すべて奈良県の飛鳥川原寺式の複弁八葉蓮華文軒丸瓦と呼ばれる瓦で、鴟尾の破片もみつかりました。瓦葺の寺院建築は1棟だけだったようで、この寺院が建っていた期間は短かったようです。

今回の調査は、地方の古代寺院のほぼ全容が明らかになった貴重な発掘事例となりました。(栗東市教育委員会・財団法人栗東市文化体育振興事業団)



広大な方形区画の南北辺の溝

※鴟尾とは古代の寺院や宮殿の屋根に据える飾り瓦で、魚の尾の形をかたどったものといわれます。後の時代の鯨は、これが原形とされます。

調査員の思い出

ハードな現場でした。
補助員さん、
作業員さん、
業者さん、
みんなありがとう。



縄文時代の東西交流の窓口か？



埋設土器に納められていた、翡翠製の大珠

ちょうだ 丁田遺跡

たかみや
彦根市高宮町

紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



調査地全景



埋設土器

大振りな土器の中に、小振りな土器が互い違いに収められていた。小振りな方の土器は、口の部分が打ち欠かれていた。不思議な納め方である。



埋設されていた土器

丁田遺跡は、縄文時代から平安時代にかけての遺跡です。今回の調査では縄文時代中期末頃（約4,500年前）の、^{たてあなたてもの} 竪穴建物やほぼ完形の土器が埋められた遺構（埋設土器）などがみつき、村跡だったことが分かりました。

竪穴建物は2棟みつきました。いずれも長方形に地面を掘り^{くぼ}窪めた建物跡でした。

埋設土器も2基あり、それらの内1基からは大珠がみつきました。また、別の位置の小穴からも、小珠がみつきました。今回みつけた埋設土器の中には大珠のほかには何も残っていませんでしたが、他の事例では幼児骨などが

残っていることがあり、墓の可能性が高いと考えられています。

大珠は縄文時代中期に多くみられるアクセサリで、石材は主に新潟県糸魚川市^{いといがわしひめかわ} 姫川流域で取れる^{ひすい} 翡翠でした。

遠く離れた新潟県産石材のアクセサリがみつけたことなどから、丁田遺跡とその周辺は、縄文時代の^{こうえき} 東西交易の窓口だったのかもしれませんが。

（彦根市教育委員会）



小珠（左）と大珠（右）
大珠は翡翠製

**調査員の
思い出**

大珠がみつかったのが調査も終わりかけのときでして、びっくりしちやいました。どういうわけか、すごい遺構や遺物は、あせっているときにみつかるんですよー（苦笑）

縄文時代晩期の家と墓



縄文時代の一つの墓のカタチ、土器棺墓

しもはねだ 下羽田遺跡

かみひらき
東近江市上平木

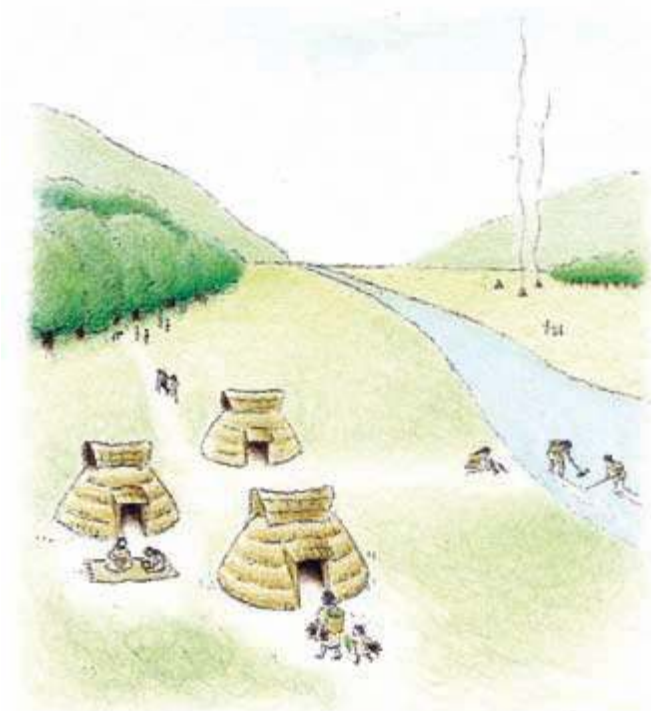
紀元前1500年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



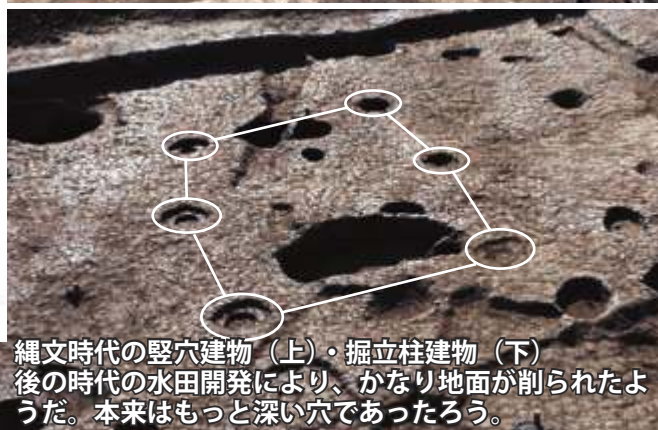
上空から見た調査地



下羽田遺跡は、これまでの周辺の調査や昨年度の調査で、縄文時代晩期の墓、古墳時代前期から7世紀頃までの^{たてあなじゆうきよ} 竪穴住居や^{ほつたてばしらたもの} 掘立柱建物、奈良時代から平安時代の掘立柱建物、溝、石敷^{いこう} 遺構、土器捨て場、平安時代以降の井戸、溝などがみつかっています。

今回の調査では、平安時代頃の掘立柱建物が見つかりました。平安時代より後は遺構は、^す 素堀溝群（水田や畑などの跡）があり、この辺り一帯が平安時代後期頃から水田や畑として使われていたようです。

注目すべきは平安時代の遺構の下から、縄文



縄文時代の竪穴建物（上）・掘立柱建物（下）後の時代の水田開発により、かなり地面が削られたようだ。本来はもっと深い穴であったろう。

時代晩期の終わり頃の村跡が見つかったことです。今回の調査では竪穴住居や掘立柱建物、当寺のお墓である^{どこうぼ} 土坑墓・^{どきかんぼ} 土器棺墓もみつかり、人が暮らす場所と墓の場所との関係を知ることができる重要な資料です。さらに、竪穴住居と掘立柱建物が同じ遺跡にあることは、縄文時代晩期としては近畿地方で初めての事例となりました。



土器棺墓とは異なるカタチの墓・土坑墓

調査員の 思い出

まさか縄文のムラの跡が…
縄文時代の終わりのムラの跡がざっくざっく。住居や建物・墓に炭化したドングリが入った穴…
夏には山から鹿が水を飲み^{しか}に当地を訪問。現場でできた小さな竜巻が山にある神社に消えていきました。
神様の訪問？
何が出てきてもおかしくない場所のようです。



けいたい 継体大王出生前夜の高島



渡来系建築物「大壁造建物」
【大壁】厚い土壁でできた建物。渡来人によってもたらされた建物か。

てんじんぼた 天神畑遺跡

かも
高島市鴨

紀元前1500年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置

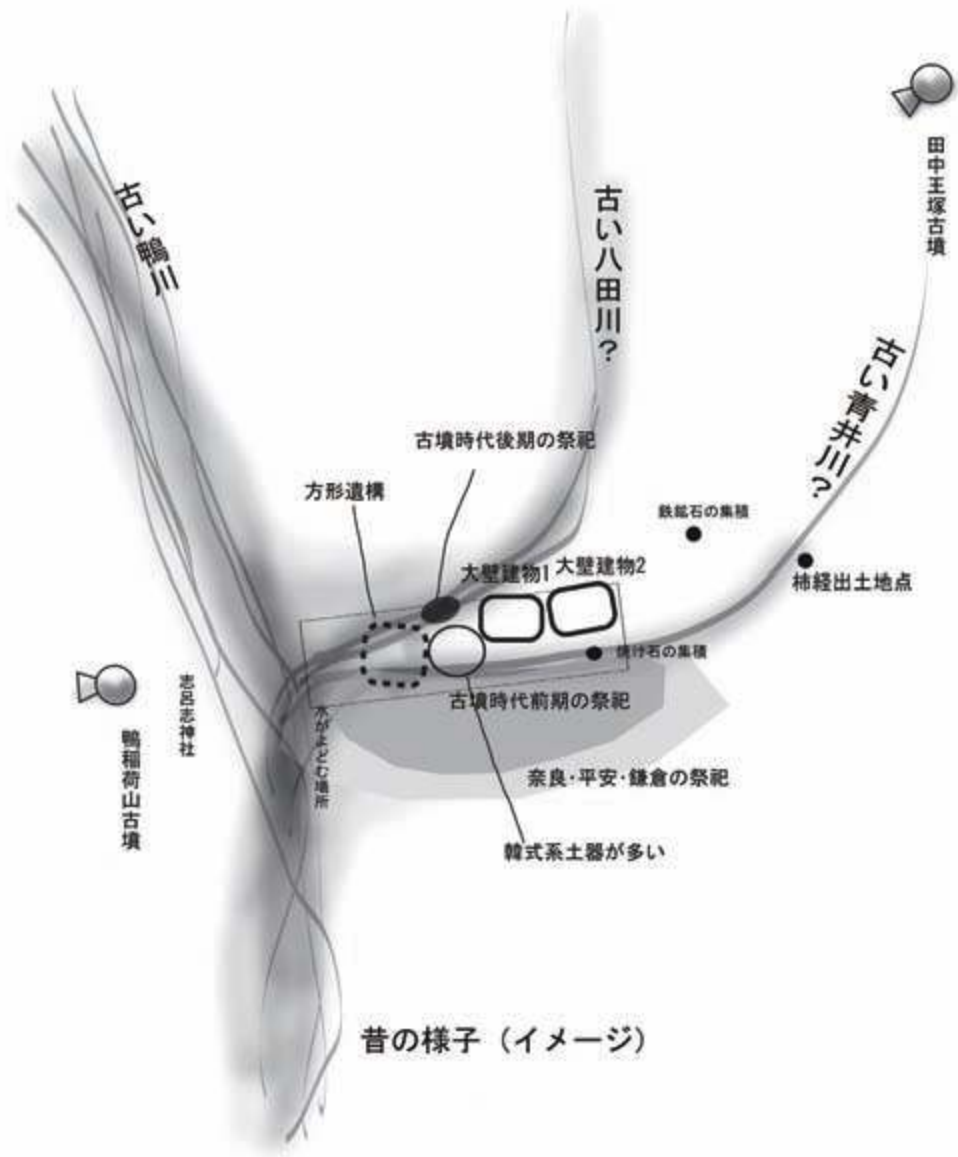


調査地全景

天神畑遺跡では、縄文時代から近世の多彩な遺構・遺物が多数見つかかり、平成21年度には、非常に薄い板にお経が書かれた「柿経」がみつかっています。

今回の調査では、弥生時代後期頃の、合流する2本の川の跡がみつかりました。川跡の近くからは「大壁造建物」がみつかりました。大壁造建物とは、柱を厚い土壁で塗りこめ、柱と壁の両方の強度で建て上げる建物です。これまで近畿地方などで100例近くがみつかっています。これまでみつかっている大壁造建物は、主に古墳時代後期（約1,500年前）のものが多のですが、今回みつかったものは古墳時代前期頃のものと考えられ、大壁造建物の中でもかなり古い可能性があります。

大壁建物がみつかる遺跡は、渡来人の痕跡が見られるところが多



く、渡来人の建築技法のひとつと考えられています。そのためか、今回の調査では同じく渡来系技法で作られた韓式系土器の破片が多数みつかっています。近くには初期須恵器（古墳時代中期）や韓式系土器が出土する下五反田遺跡や南市東遺跡があり、この辺りは渡来人と関係が深い村があったようです。また、当遺跡周辺は継体天皇（6世紀前半）とゆかりが深く、継体天皇の父、彦主人王の根拠地とされており、歴史的に重要な土地であったようです。

調査員の思ひ出

今年の雪の多さにはまいった。ず〜っとねちよねちよで苦労しました。発掘調査には天気の意味も必要だね。

川跡から多量の木製品



川跡からみつかった、多量の木製品

えびすだ 蛭子田遺跡

東近江市木村町

紀元前1500年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



名神高速道路から木村古墳群を望む



調査地遠景



方形周溝墓（弥生時代中期）



川跡（古墳時代）



竪穴住居（古墳時代前期）



カマドがある竪穴住居（古墳時代後期）

蛭子田遺跡は、古墳時代前期の川跡や平安時代中期の溝などがみつかっています。また、近くには天乞山古墳・久保田山古墳など古墳時代中期の大型の首長の墓からなる木村古墳群があります。木村古墳群は復元され、名神高速道路から眺望できるランドマーク的な古墳公園となっています。

今回の調査では、弥生時代中期の墓である方形周溝墓、古墳時代初めから後期の川跡・竪穴住居・掘立柱建物・溝・土坑、奈良時代から平安時代の溝などが見つかりました。特に古墳時代の川跡からは、土器や木製の容器類・農具類、石鏃・砥石・紡錘車などの石製品、建物1棟分に相当するほどの量の建築部材もありました。



川跡から見つかった徳利形平底壺（古墳時代後期）

注目する遺物に、徳利型平底壺という素焼きの壺があります。この壺は、滋賀県内では12点しかみつからない土器で、渡来人と関係がある土器ともいわれています。

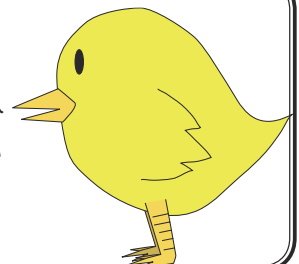


墨で文字が書かれた土器（平安時代）

古墳時代に流れていた川は、平安時代には埋まり、細い川が幾筋も流れる湿地になっていたようで、その中からは墨で文字が書かれた土器（墨書土器）が見つかりました。

調査員の
思い出

猛暑の夏、深い川の中は風も無く、水は大量に湧き出るし、大変でした。



残っていた！古墳時代の人骨



13号墳に残っていた古墳時代の人の頭蓋骨

う さ や ま 宇佐山古墳群

じんぐう
大津市神宮町

紀元前1500年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



上空からみた調査地



弥生時代の竪穴住居



弥生時代末～古墳時代初頭の周溝墓



平安時代の火葬墓（蔵骨器）

宇佐山古墳群は、宇佐山の東斜面^{しやめん}に 12 基の古墳が確認されている遺跡です。今回の調査によって、弥生時代の竪穴住居や平安時代のお墓などが見つかり、古墳以外にも様々な時代の遺構がありました。

古墳については調査によって 12 基以外に新たなものを確認することができました。13 号

墳とした新発見の古墳は、古墳時代中期前半頃（5 世紀前半）に造られたもので、粘土でパックされた完全な状態の埋葬施設^{まいそうしせつ}（亡くなった人を納める場所）^{せつかん}が確認でき、さらに石棺内には埋葬された成人男性の頭蓋骨^{ずがいこつ}が残っていました。



頭蓋骨が残っていた 13 号墳の石棺

調査員の思い出

石棺の蓋^{せつかん}を^{ふた}あけて現れた真っ赤な頭蓋骨^{ずがいこつ}にビックリ！！
1,600 年もの長い間よく残っていたと感動しました。

う 埋もれていた、伝説の寺



谷間でみつけた寺の基壇と参道

きよたきでら のうにんじ 清滝寺・能仁寺遺跡 米原市清滝

紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世



調査地の位置



上空からみた調査地
中央：清滝寺、左手奥：調査地



清滝寺遺跡と能仁寺遺跡は米原市清滝に所在する中世から近世の寺院跡で、南北朝時代から室町時代に守護大名として活躍した京極氏の墓所がある清滝寺徳源院を中心に、南側と東方に広がる遺跡です。

調査地は能仁寺谷と呼ばれ、能仁寺跡と伝承されている場所です。今回の発掘調査では、寺院の中心部と考えられる方形基壇がみつかりました。基壇の東からは山門跡とみられる遺構と、そこか



ら東へ伸びる参道と、これに沿って築かれた大規模な石積がみつかりました。

基壇の内側には、4基の礎石が残っており、中心的仏堂の遺構の一部と考えられます。この周囲には集石や焼土・焼けた壁材・少量の瓦がみつかりました。

京極氏の戒名（仏門に入った証であり、死後の名前でもある）には、しばしば寺院名がつけられ、菩提寺・墓所の所在を示しています。寺伝では7代目当主・高詮の戒名は「能仁寺殿乾嶺浄高大居士」とあり、能仁寺の名を見ることができません。中世の守護大名の墓所の様子は不明なことが多いのですが、今回の調査では守護大名の菩提寺に関する遺構が明らかになりました。



調査員の思い出

なんかボンヤリと基壇らしきものがみえてたんやけど、ちょっと不安やっせん。でも端っこから石列が出てきて基壇やと確信したわ。思わずガッツポーズしてしもた。



せんとうようさい 戦闘要塞のイメージを覆す山城



関津城の中心、最高所に位置する主郭

せきのつじょう 関津城遺跡

大津市関津

紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年	
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世	近世



調査地の位置



上空からみた調査地



関津城は、承久3年（1221年）の承久の乱後、佐々木六角氏の旗頭、青地氏に属する宇野氏の居城を中心とした遺跡です。今回の調査では、城の曲輪（城内の建物などが造られるところ）から礎石建物や焼失建物がみつかりました。礎石建物の周辺からは銅製の飾金具がみつかり、当寺の武士の暮らしぶりを垣間見ることが出来ます。焼失建物からは焼けた木材や焼けた壁土、多量の焼けた米や麦がみつかり、土蔵跡と考えられています。

礎石建物と焼失した土蔵跡があった曲輪の上の尾根上からは、四方を土塁（施設を守る連続した



見上げるほど高い土塁を貫く抜け穴？



屋敷で使われていた飾金具

土盛り）で囲んだ礎石建物がみつかりました。この建物は城内で最高所にあり、山城の中心的施設である主郭と考えられます。

今回の調査では様々な城内の施設や遺物がみつかりましたが、施設の配置や構造、みつかった遺物には戦闘的な山城の雰囲気あまりなく、武士の日常生活や接客を想像させる雰囲気や遺物が多く、戦闘要塞のイメージが強い山城の別の側面を知ることができました。



火事に遭った土蔵の跡
中には多量の焼けた米や麦があった

調査員の思い出

猛暑の中、主郭へ上ったり下ったりするのが大変辛かった…



かつての湖から木製品や骨角器



いりえないこ 入江内湖遺跡

米原市入江

紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世

入江内湖遺跡は旧入江内湖に位置し、平成14・15・21年度の発掘調査では、縄文時代前期の旧河道や縄文時代後期の遺物包含層（土器などの遺物が土中に含まれている層）、弥生時代の土坑群、古墳時代の遺物包含層が確認され、各時代の土器のほか、縄文時代の石器や丸木舟、ヤス・釣針などの骨角器、古墳時代の木製品がみつかっています。

今回の調査では、縄文時代と古墳時代の遺物包含層を確認し、縄文時代・古墳時代の土器や釣針などの骨角器、槌や斧の柄などの木製品などがみつかりました。

りました。

入江内湖遺跡などのような湖辺の遺跡は、長年にわたって積もった土と水が空気を遮断し、密封状態で残り続けるため、昔の遺物が良好な状態で出土するところが特徴です。よって昔の人々が使っていたものがよく分かる遺跡であり、昔の人々の暮らしぶりを知るうえで重要な遺跡です。



骨製釣針



骨製ヤス



木製槌



木製斧柄



木製鋤

みつなり 三成の城、城下町の賑わい にぎ



佐和山城城下町のメインストリート「本町筋」想定地からみつけた道路面

さわやまじょうあと 佐和山城跡

彦根市佐和山町

	紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器		縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世 近世

佐和山城遺跡は、室町時代から安土桃山時代にかけての城跡で、特に石田三成の居城として知られています。これまでの調査では16世紀中頃～

末の武家屋敷跡や16世紀後半の佐和山城の内堀や城下町の町屋がみつかりました。

今回の調査では、佐和山城城下町の主要道路とされる南北方向の「本町筋」に想定される場所（調査前は道路）で、佐和山城当時の道路面がみつかりました。

その他、柱穴や井戸・溝などもみつかっており、調査範囲が狭いため不明な点もありますが、これらの遺構は想定されていた佐和山城の城下町を構成する町屋の一部と考えられます。



2010年の調査でみつかった 土製品：犬

縄文1万年の地



13,000年以上前から人が住み続けた相谷熊原遺跡

あいだにくまはら 相谷熊原遺跡

えいげんじ 東近江市永源寺町相谷

	紀元前15000年	紀元前300年	紀元後300年	700年	800年	1200年	1600年
旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	中世	近世



草創期の竪穴建物群から100m北側の調査区



縄文時代早期初頭(10,000年前)の土坑

相谷熊原遺跡は、平成21年度の調査で縄文時代草創期から晩期を中心とする時期の集落遺跡です。特に、縄文時代草創期後半(約13,000年前)の竪穴建物跡群および国内最古級の土偶がみつかったことで、全国的に知られることとなりました。

今回調査では、草創期の竪穴建物群の100m北側で、縄文時代早期初頭(約10,000年前)の土坑などがみつかりました。これまでの調査では縄文時代草創期・前期・中期・後期・晩期の遺構や遺物がみつかり、草創期～晩期へと続く、縄文時代全般に渡ってこの相谷の地で生活を営んでいたことが明らかとなりました。

縄文時代の遺構や遺物のほかに、その他の調査区からは弥生時代～中世の遺構や遺物が出土しています。鈴鹿山地の入口であり、愛知川と渋川の合流点でもあるここ相谷の地が、13,000年以上



平成 22 年 6 月 6 日に行われた現地説明会の様子。
全国から 1,000 人以上の方々が来ていただきました。

前から重要な場所であり、何らかのかたちでこの地で人々が活動してきたことが明らかとなりました。

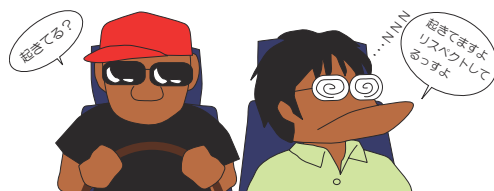
縄文時代草創期の遺構は埋め戻され、現地の地下に保存されています。国内最古級の土偶や土器、石器などは、「発掘された日本列島 2011」に出展され、日本全国の 5ヶ所の博物館で展示されています。



土層断面の剥ぎ取り作業
後々、検証できるように、埋まっていた様子が分かる土層断面を薬品で固め、剥ぎ取りました。

調査員の思い出

私たちは、このようなすごい遺跡の調査ができて良かったと思います。おかげでそれまで未知の時代だった「縄文時代草創期」について、がんばって勉強しようと思うようになりました。三重県や愛知県に土器を見に行ったりもしました。私たち調査員は、現場に育てられて大きくなっていくのかもしれない。



財団法人滋賀県文化財保護協会 近年の事業実績

★ 財団法人滋賀県文化財保護協会では、県・市町教育委員会との連携を図りながら、文化財の保存・活用に関する事業を幅広く受託します。

1. 埋蔵発掘調査・整理調査事業

- ①滋賀県教育委員会からの発掘調査・整理調査委託（平成22年度事業については、P29参照。）
- ②市町教育委員会からの発掘調査・整理調査委託
 - ・守山市三宅北遺跡の発掘調査・整理調査および報告書刊行
(私立立命館高校グランド造成工事)
 - ・湖北町史跡小谷城跡出土遺物整理調査および報告書編集（国庫補助事業）
 - ・高島市西万木遺跡発掘調査・整理調査および報告書編集（大型店舗建設工事）
 - ・犬上群甲良町長畑遺跡試掘調査
- ③民間開発事業に伴う発掘調査委託
 - ・甲賀市北脇遺跡発掘調査・整理調査および報告書編集
- ④指定文化財保存修理事業
 - ・彦根市指定文化財「赤玉神教丸本舗」有川氏宅庭園の測量調査
 - ・重要文化財明王院ほか3棟修理工事に伴う発掘調査・整理調査および報告書編集
 - ・滋賀県指定有形文化財聖衆来迎寺表門保存修理工事に伴う発掘調査・整理調査および報告書編集

2. 名勝庭園保存修理事業受託

- ・名勝西明寺本坊庭園保存修理事業および保存修理工事報告書の刊行
- ・名勝多賀神社奥書院庭園保存修理事業および保存修理工事報告書の刊行

3. 文化財活用事業の受託

- ①滋賀県教育委員会からの受託事業
 - ・体験学習の実施
 - ・体験学習リーフレットの作成
- ②市町教育委員会からの受託事業

- ・葛籠尾崎湖底遺跡紹介パンフレット編集事業

湖北町教育委員会の依頼により、葛籠尾崎湖底遺跡を紹介する『琵琶湖の神秘—葛籠尾崎湖底遺跡—』（A4版12頁カラー印刷）を編集・刊行しました。

あわせて、湖北町尾上公民館において葛籠尾崎湖底遺および周辺遺跡を紹介する講座と縄文時代をテーマとした体験学習を開催しました。

4. 文化財活用事業の実施

★財団法人滋賀県文化財保護協会は、受託事業の他、文化財の価値を周知し、これを未来に継承することを目的とし、文化財活用事業の実施に積極的に取り組んでいます。

①発掘調査説明会等の実施

発掘調査では、その成果をより早く、多くの人に知ってもらうため、記者発表や説明会を開催しています。

②整理調査報告会「あの遺跡は今！」の実施

現地での発掘調査に引き続き実施する整理調査において、明らかとなった成果をわかりやすく県民の皆様へ報告しています。報告会・出土品展示のほか、整理作業体験や出土遺物をモチーフにしたオリジナルグッズの製作体験も実施しています。

③文化財連続講座の実施

滋賀県文化財保護協会の職員が、さまざまな分野の文化財を対象に、詳しく解説します。講座のほかに、オプションツアーとして、現地探訪なども実施しています。



下羽田遺跡整理作業



三宅北遺跡発掘調査



有川氏邸宅庭園



滋賀県埋蔵文化財センター
体験学習「草木染め」



多賀神社奥書院庭園



葛籠尾崎湖底遺跡
イメージイラスト
(パンフレット掲載)



佐和山城遺跡現地説明会



文化財連続講座
オプションツアー
「湖北・小谷城を訪ねる」

④文化財展の開催

県内各地で実施した、発掘調査や整理調査の成果を県民の皆さまに知っていただくため、わかりやすい展示をしています。

- ・「発掘調査成果展 レトロ・レトロの展覧会」
- ・財団法人滋賀県文化財保護協会設立 40 周年記念展「戦国の琵琶湖—近江の城の物語」

⑤特別展示の実施

大型商業施設等で、滋賀県内の遺跡出土の遺物を紹介する展示を行っています。

⑥体験イベントの実施

大型商業施設等で、勾玉製作をはじめとする体験学習を行っています。

⑦文化財講師の派遣

文化財専門職員が一般の方々に講座等を通して文化財の魅力や価値を伝える『文化財構師』のデータベース（講座リスト）を作成し、ホームページ上で公開するとともに、講座や体験学習の講師として職員を派遣しています。

⑧出土品の活用事業「埋蔵大喜笑！！（マイゾオオキニッ）」

滋賀県埋蔵文化財センターでは、学校を始めとする地域学習の素材として、本物の出土文化財の貸し出しや、それを用いて授業を行う講師の派遣を行っています。

⑨ JR 湖西線大津京駅構内文化財展示

大津京駅構内において、文化財の魅力をわかりやすく展示しています。

⑩ホームページ上での情報発信

滋賀県文化財保護協会・滋賀県埋蔵文化財センターでは、ホームページ上で、文化財に関する様々な情報を公開しています。発掘調査情報・現地説明会案内・現地説明会資料・整理調査速報・出版物案内などの情報のほか、発掘調査員のこだわりの逸品などの読み物を連載しています。

⑪配布物による情報発信

- ・小学生対象のイベント広報紙の刊行
- ・文化財福袋の発送

ご希望される方へ、滋賀県文化財保護協会・滋賀県埋蔵文化財センターで実施する、文化財イベント情報をまとめた「文化財福袋」を定期的に（年 4 回程度）発送しています。（無料）



レトロ・レトロの展覧会



設立 40 周年記念展



勾玉製作体験
(フォレオ大津一里山で実施)



特別展示
「戦国ぶろぐー近江城日記」
(イオンモール草津で実施)



講座「水琴窟を作ろう」の様子
(滋賀リビングで実施)



出前授業の様子

5. 文化財関係印刷物の編集・刊行

★滋賀県文化財保護協会では、埋蔵文化財発掘調査報告書を始め、県下に文化財を紹介する様々な印刷物を提供しています。



びわこの考湖学 1
『琵琶湖を巡る交通と経済力』
¥1,680



『紀要』
第 24 号
¥1,200



シリーズ近江の文化財 004
『縄文人のエコロジーとエコノミー』
¥600

★文化財活用事業に関するお問い合わせ・書籍のお申し込みは★

○財団法人滋賀県文化財保護協会 <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2 Tel : 077-548-9780

○滋賀県埋蔵文化財センター <http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc>

Tel : 077-548-9681

財団法人滋賀県文化財保護協会 平成22年度事業実施概要

(1) 協会運営

◎役員会議等の開催

- 決算監査 平成22年5月21日(金)
- 理事会 年3回・評議員会 年2回開催

◎管理事務

滋賀県埋蔵文化財センター・滋賀県立琵琶湖博物館

◎指定管理

滋賀県立安土城考古博物館(指定管理期間 平成18年～22年、5年間)

(2) 埋蔵文化財の調査・研究・保護に関する事業

◎埋蔵文化財調査などの受託

(3) 文化財保護のための普及啓発事業

①文化財展の開催

◎「発掘調査成果展 レトロ・レトロの展覧会2010」

期間 平成22年7月17日(土)～8月31日(火)
入館者数 7,009人

◎財団法人滋賀県文化財保護協会設立40周年記念展

(滋賀県立安土城考古博物館企画展)

「戦国の琵琶湖—近江の城の物語—」

期間 平成22年7月17日(土)～9月26日(日)
入館者数 14,486人

◎JR湖西線大津京駅構内展示

年間を通して、4回のテーマ展示を実施

◎特別展示(イオンモール草津で実施)

「戦国ぶろぐ—近江城日記」

期間 平成23年2月11日(金)～2月13日(日)
入場者数 3,360人

②刊行物の編集・刊行

◎「おうみ文化財通信」vo. 4～7

◎「紀要」第23号

◎シリーズ近江の文化財001 「甲賀郡中惣の世界」

◎シリーズ近江の文化財002 「関津遺跡」

◎シリーズ近江の文化財003 「琵琶湖の港と船」

◎シリーズ近江の文化財004 「縄文人のエコロジーとエコノミー」

◎「考古学体験学習リーフレット」(3種類)

③発掘調査説明会などの開催

◎一般向け:全10回開催 参加者延べ 3,192人

◎地元向け:全5回開催 参加者延べ 431人

④整理調査報告会「あの遺跡は今!!」

全2回開催 参加者延べ 922人

⑤連続講座の開催

文化財もの知り学2010 平城京遷都1300年企画「都を支えた近江 そして琵琶湖」
全7回開催(他に探訪3回) 参加者延べ650人(うち探訪 90人)

⑥講演会の開催

全3回開催 参加者延べ 245人

⑦情報の発信

◎ホームページによる発掘調査情報、現地説明会案内、出版案内情報の発信

平成22年度アクセス総数— 118,758件(月平均 9,897件)

◎「文化財福袋」による、文化財イベントの案内

年4回発送(発送先 17,000件)

⑨その他

◎職場体験等 4校 参加者 61人

◎大型商業施設における体験学習

(イオンモール草津・フォレオ大津一里山で開催)

全2回開催 参加者延べ 218人(遺物展示観覧者 約1,400人)

(4) 文化財施設の管理運営事業

①安土城考古博物館(年間総入館者数 55,884人)

◎特別展

○春季特別展 「導水施設と埴輪像から見えてくるもの

—古墳時代の王権とまつり—

期間 平成22年4月24日(土)～6月13日(日)

○秋季特別展 「室町最後の将軍一足利義昭と織田信長—」

期間 平成22年10月16日(土)～11月14日(日)

◎企画展

○第40回企画展・財団法人滋賀県文化財保護協会設立40周年記念展

「戦国の琵琶湖—近江の城の物語—」

期間 平成22年7月17日(土)～9月26日(日)

○特別陳列「四季の花に遊ぶ鳥」(琵琶湖文化館の収蔵品の展示)

期間 平成22年12月4日(土)～平成23年1月23日(日)

○第41回企画展 「西国三十三所観音巡礼と近江」

期間 平成23年2月11日(土)～平成23年4月3日(日)

◎博物館講座 年10回開催 参加者延べ 1,458人

◎学校関係体験学習事業 延べ 46校 参加者 2,213人

②滋賀県立琵琶湖文化館

◎展覧会 2回開催(滋賀県立安土城考古博物館・九州国立博物館にて開催)

◎講座 「打出のコツチ」全8回開催 参加人数 485人

③滋賀県埋蔵文化財センター(年間入館者数 17,098人)

◎展示

○源内峠遺跡復元委員会協働展示「古代を支えた瀬田山の焰」

期間 平成22年2月20日(土)～5月7日(金)

○協会40周年記念講演会協賛企画「琵琶湖が育てた歴史と文化」

期間 平成22年5月26日(水)～7月9日(金)

○関西考古学の日記念展示「縄文人のアートと文化」

期間 平成22年9月10日(金)～12月9日(木)

○常設展示「近江の南の玄関口 関津遺跡」

期間 平成22年12月20日(月)～平成23年4月22日(金)

◎刊行物

○「埋もれた文化財の話31」(編集)

◎体験学習の実施 参加者延べ 581人

◎出土遺物の貸し出し

○「埋蔵大喜笑!!」貸し出し 14件 利用者数 1,047人

◎発掘調査成果の紹介(埋蔵文化財センター研究会)

○「琵琶湖を制する者」

平成22年12月4日(土)(コラボしが21で開催) 参加者 50人

○平成22年度発掘調査成果報告会「土の中から歴史が見える」

平成23年3月5日(土)(ピアザ淡江で開催) 参加者 150人

◎出土遺物・発掘調査写真・出土遺物の受け入れ

(5) 文化財活用資金の貸付状況

◎貸付実績 2件 13,260,000円

財団法人滋賀県文化財保護協会平成22年度調査一覧

遺跡名	所在地	調査	面積	報告書	事業者	調査原因	主な内容	
下羽田遺跡	東近江市	発掘	4,540		農政水産部	水質保全	縄文時代晩期の土器棺墓・土坑墓・堅穴住居・掘立柱建物など	
下羽田遺跡	東近江市	発掘	2,271			ほ場整備	縄文時代晩期の土坑・室町時代の埋め立て跡など	
佐和山城遺跡	彦根市	発掘	1,052			ほ場整備	城下町期の道路とその側溝・建物柱穴・井戸など	
相谷熊原遺跡	東近江市	試・発	5,070			ほ場整備	縄文時代早期～後期の土坑・落し穴など	
上沢遺跡	東近江市	試・発	1,559			ほ場整備	室町時代の土坑・溝など	
泊氏館遺跡	東近江市	試掘	1,500			ほ場整備	溝・柱穴、平安時代の須恵器や16世紀の陶器、サヌカイト製の石器など	
春日北遺跡	甲賀市	発掘	80		土木交通部	道路整備	平安時代中頃の緑釉陶器窯の灰原	
関津遺跡・関津城遺跡	大津市	発掘	7,430			道路整備	16世紀の屋敷跡・区画溝・井戸・旧河道・館城跡・鎌倉時代の上りヤナなど	
下長遺跡・横江遺跡	守山市	発掘	6,390			道路整備	弥生時代末から中世の溝・土坑・掘立柱建物など	
霊仙寺遺跡	栗東市	試掘	35			道路整備	遺構・遺物なし	
日置前遺跡	高島市	発掘	450			道路整備	奈良～平安時代の掘立柱建物など	
長福寺遺跡	甲賀市	発掘	380			道路整備	室町時代の溝・土坑・小穴、多数の灯明皿など	
宇佐山古墳群	大津市	発掘	3,500			砂防工事	弥生時代中期末の堅穴住居、弥生時代後期末～古墳時代初頭の周溝墓、箱式石棺を納めた古墳(石棺内には頭蓋骨が遺存)など	
清滝寺・能仁寺遺跡	米原市	発掘	3,900			砂防工事	15世紀頃の寺院基壇とこれに伴う建物跡・参道・石垣など	
山屋敷遺跡	日野町	試掘	150			砂防工事	陶磁器・遺構なし	
中村城遺跡	大津市	試掘	150			砂防工事	遺構・遺物なし	
天神畑・上御殿遺跡	高島市	発掘	2,250			河川改修	弥生時代～古墳時代の施設、弥生時代後期～中世の遺物を包含する旧河道など	
蛭子田遺跡	東近江市	発掘	6,000			土木交通部	名神高速蒲生IC	古墳時代の旧河道・堅穴住居、奈良～平安時代の溝など
金剛寺・後川遺跡	近江八幡市	発掘	555			土地開発公社	グラウンド整備	溝・土坑・沼跡・小穴など
堤ヶ谷遺跡	竜王町	試掘	3,000				工業用地造成	弥生時代の環濠、中世古墓・近世集落など
聖衆来迎寺	大津市	発掘	24		滋賀県教育委員会	建造物保存修理	整地層など	
長畑遺跡	甲良町	試掘	1,350		甲良町教育委員会	工場建設	奈良～平安時代の小鍛冶炉・井戸・掘立柱建物など	
辻遺跡	栗東市	発掘	115		下水道事務所	下水道管設置工事	古墳時代の須恵器など	
入江内湖遺跡	米原市	発掘	2,556		国土交通省	道路整備	縄文時代・古墳時代の遺物包含層	
井戸遺跡	湖南市	整理		○	農政水産部	ほ場整備	自然流路跡や縄文土器など	
針氏城遺跡	湖南市	整理				ほ場整備	縄文時代の落込み、8世紀の溝・柱穴、15世紀頃の掘立柱建物や溝	
夏見城遺跡	湖南市	整理		○		ほ場整備	室町時代後期の溝・井戸や毛抜きなど	
相谷熊原遺跡	東近江市	整理				ほ場整備	縄文時代草創期の堅穴建物や土偶、縄文時代晩期の土器棺墓群など	
浄土屋敷遺跡	東近江市	整理		○		ほ場整備	縄文時代の土器棺墓や古墳時代の堅穴住居、中世の屋敷跡など	
下羽田遺跡	東近江市	整理				水質保全	古墳時代前期～中期の堅穴住居・掘立柱建物・木棺墓・土坑墓、平安時代の掘立柱建物など	
春日北遺跡	甲賀市	整理			土木交通部	道路整備	平安時代中頃の緑釉陶器窯・灰釉陶器窯および灰原	
日置前遺跡	高島市	整理				道路整備	奈良～平安時代の掘立柱建物・溝など	
番場遺跡	日野町	整理		○		道路整備	古墳時代中期の自然流路跡と堅櫛と木製網代	
金剛寺城遺跡	近江八幡市	整理		○		道路整備	小穴など	
塩津港遺跡	長浜市	整理				河川改修	平安時代後期の神社跡	
金貝遺跡	東近江市	整理		○		河川改修	奈良～平安時代の堅穴住居・掘立柱建物・灌漑水路・土坑など	
天神畑・上御殿遺跡	高島市	整理				河川改修	弥生時代～中世の河川跡と集落跡	
関津城遺跡	大津市	整理				道路整備	室町時代後期の山城	
清滝寺・能仁寺遺跡	米原市	整理				砂防工事	室町・江戸時代の掘立柱建物・井戸など	
松原内湖遺跡	彦根市	整理		○		東北部流域下水道	浄化センター建設	縄文時代の集石土坑、奈良～平安時代の堅穴住居・井戸など
粟津湖底遺跡	大津市	整理				滋賀県教育委員会 (旧水資源公団)	琵琶湖総合開発	国内最大級の淡水貝塚
志那湖底・七条浦遺跡	草津市	整理		○			琵琶湖総合開発	縄文時代後・晩期の墓域・弥生時代の集落跡
北萱・北山田湖底・矢橋湖底遺跡	草津市	整理					琵琶湖総合開発	縄文時代～近世の遺物包含層
針江浜遺跡	高島市	整理					琵琶湖総合開発	弥生時代前期の集落跡・地震跡
長命寺湖底遺跡	近江八幡市	整理			琵琶湖総合開発		縄文時代の汀線で丸木船が出土	
三宅北遺跡	守山市	整理		○	学校法人立命館	グラウンド整備	6世紀末～7世紀代の溝など	
			54,307	8				

「体感」夏休み発掘速報2011」(平成23年7月)

編集・発行/財団法人滋賀県文化財保護協会 〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732-2 電話:077-548-9780 FAX:077-543-1525

共催/滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・栗東市教育委員会・彦根市教育委員会・財団法人栗東市文化体育振興事業団

印刷・製本/株式会社スマイ印刷

暑さを吹きとばせ！ 「火起こし選手権」開催！！

7月18日（月・祝）
滋賀県埋蔵文化財センターにて

古代の道具で火起こし！着火までのスピードを競います。
エントリーは40名（組）。
順次予選会を行い、上位の方で決勝戦を行います。
優勝者・準優勝者を表彰。
副賞として協賛企業から素敵な賞品を贈呈します。
※もれなく参加賞ももらえます。

過去の結果

お父さん・お母さん部門

- 1位 49秒31（速すぎる！）
- 2位 1分07秒00（なんと！）
- 3位 1分44秒25（サインして！）

小学生部門

- 1位 2分38秒47（GOOD！）
- 2位 5分26秒00（YES！）
- 3位 5分51秒68（OH！）

親子部門

- 1位 40秒72（うぉ！）
- 2位 2分15秒00（うっ！）
- 3位 2分23秒03（はっ！）

やってやるぜ！！



クイズに答えて縄文時代のシジミをGET!!

開催期間中、展示をみながらクイズに答えて
全問正解なら、粟津湖底遺跡の縄文時代の貝
塚から出た、4,500年前の人達が食べたシジ
ミの貝殻をプレゼント！



火起こし体験とともに、奮ってご参加ください！！